

# ORIGIN REPORT

株主の皆様へ 第120期 中間報告書

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

Electronics

Mechatronics

Chemitronics

Components



代表取締役社長  
妹尾一宏

## 独自技術とシナジー発揮で 常に新市場を創出できる 企業を目指します

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第120期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）のご報告をお届けするにあたり、概況を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言解除後、経済活動が徐々に再開されたことにより、一部に持ち直しの動きが見られるものの経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。海外においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が収束しておらず、加えて米中对立の動向や金融資本市場の変動の影響を注視する必要があるなど、依然として不透明感が極めて強い状況となっております。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は115億5百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

利益面におきましては、営業損失10億5千2百万円（前年同四半期は営業利益7億3百万円）、経常損失9億1千1百万円（前年同四半期は経常利益7億4千2百万円）となりました。本社さいたま新都心オフィスの本社事業所への統合に伴う移転損失引当金繰入額6千4百万円、希望退職者募集の実施による特別退職金1億9千7百万円、半導体ウエハの外部委託生産による生産設備等の減損損失5千5百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は14億9千3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億8千7百万円）となりました。

私たちは、全て基本（Origin）から経営や研究を考えていくという創業時からの精神を引き継ぎ、混合体から複合体、更には融合体として、新たな価値を創造し、社会に貢献する会社を目指します。

なお、中間配当金につきましては、11月10日開催の取締役会におきまして、1株7円とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

## 経営理念

人類社会に役立つ  
存在感あふれる企業を目指し

世界中から情報が集まり人が集まる

「開かれた企業」となる

オンリーワン技術を磨く

「独自性ある企業」となる

チャンスを与え失敗を乗り越え、任せることの出来る

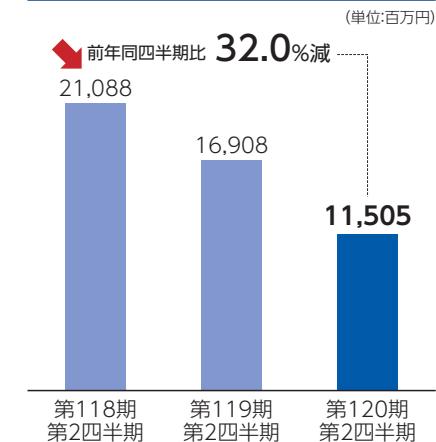
「自己実現の場である企業」となる

新たな価値を創造し、  
社会に貢献する企業となる

## 売上高

115億5百万円

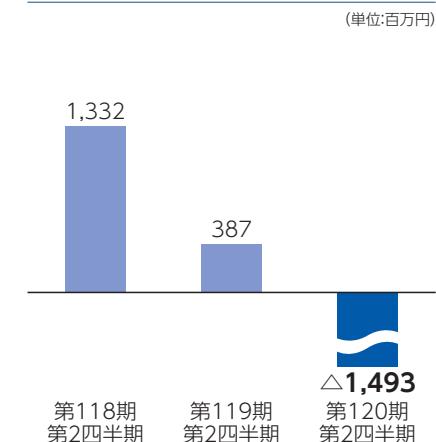
前年同四半期比 54億2百万円減



## 親会社株主に帰属する四半期純利益

△14億93百万円

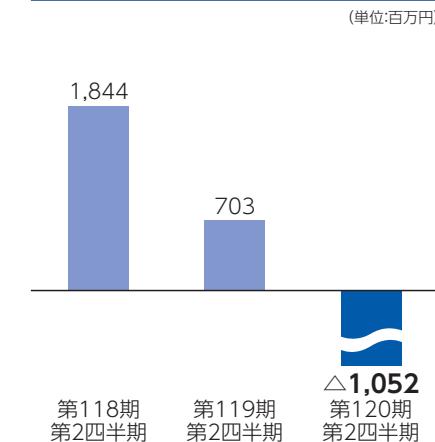
前年同四半期比 18億80百万円減



## 営業利益

△10億52百万円

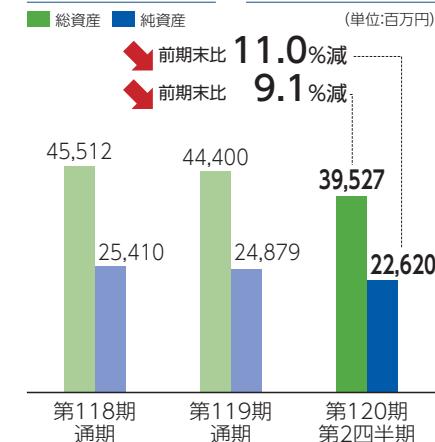
前年同四半期比 17億55百万円減



## 総資産／純資産

総資産 395億27百万円  
純資産 226億20百万円

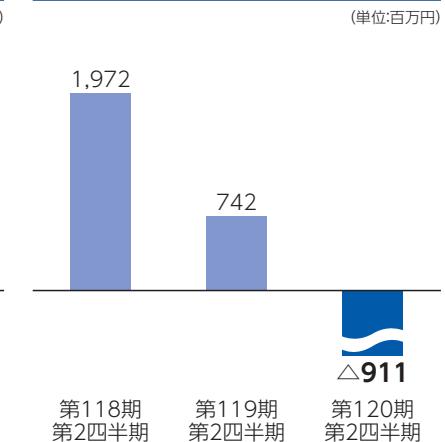
総資産前期末比 48億72百万円減  
純資産前期末比 22億58百万円減



## 経常利益

△9億11百万円

前年同四半期比 16億54百万円減

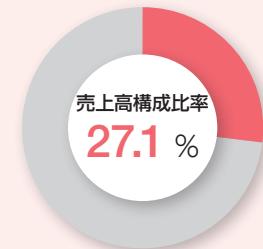


## 第120期 通期業績予想

売上高	24,000百万円	前期比 26.2%減
営業利益	△2,200百万円	
経常利益	△2,000百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,500百万円	
1株当たり当期純利益	△395円19銭	

## エレクトロニクス事業

3,115 百万円



## 主要製品

**電源機器**:各種直流電源機器、液晶製造装置用高電圧電源機器  
直流高電圧電源機器



X線装置用電源

移動通信基地局用整流装置  
(基地局屋外)

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比26.6%減の31億1千5百万円(総売上高の27.1%)となりました。医療用、ランプ・光源用などの高圧電源は堅調に推移しましたが、携帯端末向け無線基地局用電源の需要と環境関連の高圧電源の更改需要の減少により、大幅な売上減となりました。

## ケミトロニクス事業

3,696 百万円



## 主要製品

**合成樹脂塗料**:プラスチック用塗料、プラスチック用水系塗料、非鉄金属用塗料、UV硬化塗料、機能的塗料、真空蒸着用塗料



- 1 採用部品:メータークラスター  
採用塗料:エコネットVZ-2
- 2 採用部品:センタークラスター  
採用塗料:エコネットNS-3+  
エコネットNS-2



- 3 採用部品:シフトパネル  
採用塗料:エコネットET SS
- 4 採用部品:スイッチベース  
採用塗料:エコネットNS-2

化粧品容器  
採用塗料:東邦化研工業株製UV塗料デジタルカメラ  
採用塗料:プラネットPX-1ナビパネル  
採用塗料:UV TP

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比30.3%減の36億9千6百万円(総売上高の32.1%)となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各自動車メーカーの減産や、化粧品分野の需要減少が響き、国内外で大幅な売上減となりました。

## メカトロニクス事業

865 百万円



## 主要製品

**システム機器**:モバイルディスプレイ貼合せ装置(MDB)、車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置(DB)、大型溶接機(RMW)、光半導体用キャップシーラー(CSW)、真空ソルダーリングシステム(VSM)、および各種システム機器



自動車駆動系部品向け大型溶接機



真空ソルダーリングシステム



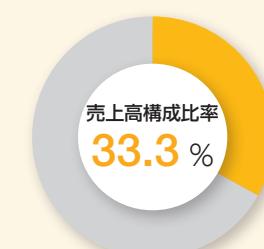
車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置

メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比67.8%減の8億6千5百万円(総売上高の7.5%)となりました。

光半導体用溶接機(CSW)と車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置(DB(Display Bonder))が寄与するも、MDB(Mobile Display Bonder)はスマートフォン市場の成熟化により需要鈍化しました。更に新型コロナウイルス感染症の影響に伴う設備投資の抑制が続き、大幅な売上減となりました。

## コンポーネント事業

3,827 百万円

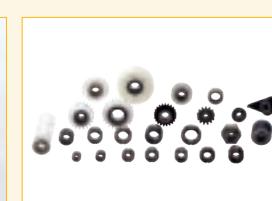


## 主要製品

**半導体デバイス/精密機構部品**:高速ダイオード、整流ダイオード、ショットキーバリアダイオード、サージ吸収素子等の半導体およびその複合モジュール、ミニチュアベアリング、ワンウェイクラッチ、トルクリミッタ、小型メカニカル製品およびその複合品



半導体デバイス



ワンウェイクラッチ



トルクリミッタ

磁性流体シールベアリング  
※イメージ図

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比18.1%減の38億2千7百万円(総売上高の33.3%)となりました。

装置産業向けは堅調に推移も、新型コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務等の働き方改革が浸透したこともあり、オフィス向けの高性能事務機器関係が低迷し、大幅な売上減となりました。

## 本社さいたま新都心オフィスの移転について



建物名	本社事業所
住所	〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3-3-27
敷地面積	2,903.77㎡
延べ床面積	5,834.86㎡
建物規模	地上4階
竣工	2015年11月

2021年3月より本社さいたま新都心オフィスを本社事業所へ移転をいたします。事業拠点の統合により、営業部門と技術製造部門においてはコミュニケーションおよび判断スピードの向上、管理部門においては分散配置部署の一元化など、事業の再構築と再配置による業務効率化を推進し、業績向上や生産性向上につなげていきます。

### 本社さいたま新都心オフィスと本社事業所の部門

※赤字の本社さいたま新都心オフィスの部門が移転します

経営企画本部  
IT企画部  
品質統括室  
環境向上推進室  
総務部  
人事部  
経理部  
研究開発本部

エレクトロニクス事業部  
営業部  
事業推進室  
技術部  
生産管理部  
サービス部  
業務部  
品質保証室

メカトロニクス事業部  
営業部  
開発部  
技術部  
管理部

JR埼京線南与野駅より徒歩15分

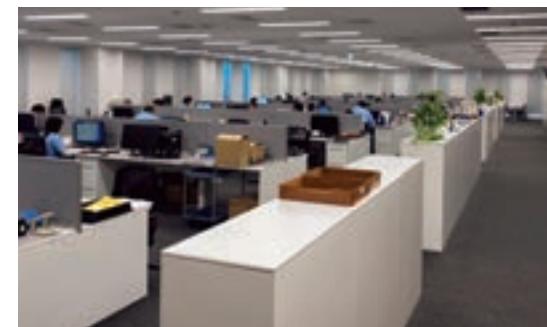


1、2階にはお客様との打ち合わせブースやミーティング室が複数あります。営業、技術が統合することにより商談が円滑に進められるようにしていきます。



1階エントランスホール

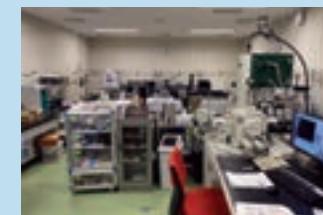
### 執務エリア



2階、3階、4階に執務エリアがあります。事業部の営業部門、技術部門、購買部門を一つのエリアに統合させ、意思決定のスピードを高めていきます。

### 研究開発施設の紹介

本社事業所には研究開発本部、エレクトロニクス事業部とメカトロニクス事業部の研究開発施設があります。



研究開発本部の分析機器室

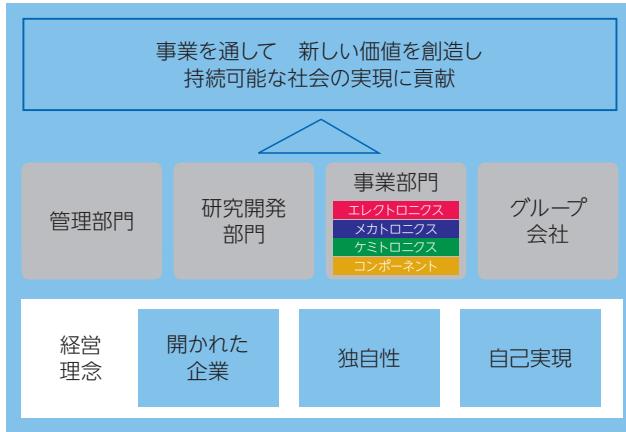


電源関係の実験スペース



真空ソルダリングシステムの実験・デモスペース

真空ソルダリングシステムについては、社員の実験だけではなく、お客様が立ち会って、お客様が持ち込んだワークピースのはんだ付け実験も行っています。



CSR (企業の社会的責任) を経営の重要な戦略と位置づけ、当社代表取締役社長を最高推進責任者とする「CSR委員会」を設置しています。

経営理念の実現と、すべてのステークホルダーの信頼と期待に応え、グループ行動憲章に則り、社会課題の解決と当社グループの持続的な成長に向けて取り組んでいきます。

持続可能な社会の実現に向けた製品開発の事例

事業活動を通して社会課題の解決とオリジンの持続的な成長に向けて取り組んでいます。

医療診断用X線電源

医療診断装置用のX線発生器やX線用電源を装置メーカーへ供給しています。小型化など様々なニーズに対応し、早期発見による予防処置も含め、社会の人々の健康を支え、コロナ禍における社会的課題の解決に取り組んでいます。



抗菌塗料

今年4月、エレベーターのパーツメーカーからの依頼で、抗菌塗料を製造・販売。病院やホテルなどのエレベーター行先階ボタンに当社の塗料が採用されました。



SDGs (持続可能な開発目標) は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標で、2015年9月に国連サミットで採択されました。



当社Webサイトにて、ESG視点からの【CSRの取り組み】をご紹介します。



世界中へ広がり続けるネットワーク

■ …… 事業所  
● …… 子会社



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目/期別	前期 2020年3月31日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	26,704	22,244
固定資産	17,695	17,283
有形固定資産	11,083	10,734
無形固定資産	635	565
投資その他の資産	5,976	5,983
資産合計	44,400	39,527
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	9,330	7,106
固定負債	10,190	9,801
負債合計	19,521	16,907
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	20,608	18,853
その他の包括利益累計額	1,599	1,588
非支配株主持分	2,671	2,178
純資産合計	24,879	22,620
負債純資産合計	44,400	39,527

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	16,908	11,505
売上原価	12,413	9,296
売上総利益	4,494	2,208
販売費及び一般管理費	3,790	3,260
営業利益又は営業損失(△)	703	△1,052
営業外収益	231	260
営業外費用	192	119
経常利益又は経常損失(△)	742	△911
特別利益	0	34
特別損失	35	318
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	707	△1,196
法人税等	232	271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	474	△1,467
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	387	△1,493

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	365	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,189	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210	△1,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△121
現金及び現金同等物の増減額	△1,089	△1,472
現金及び現金同等物の期首残高	6,421	6,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,331	5,239

## 株式の状況

(2020年9月30日現在)

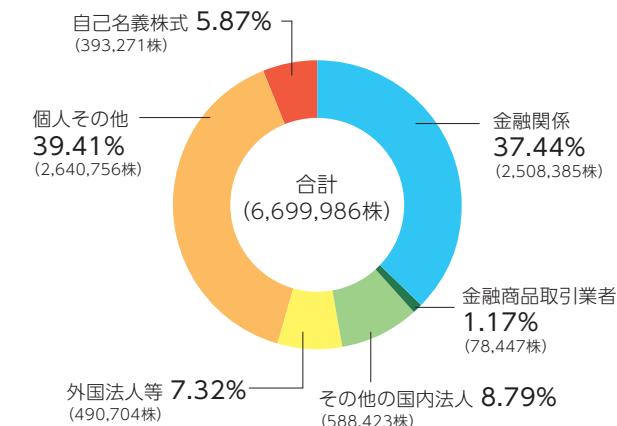
発行可能株式総数	26,600,000株
発行済株式の総数	6,699,986株
株主数	4,502名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
オリジン取引先持株会	413	6.56
損害保険ジャパン株式会社	376	5.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	312	4.95
株式会社みずほ銀行	308	4.89
明治安田生命保険相互会社	302	4.80
株式会社りそな銀行	156	2.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	152	2.42
トーア再保険株式会社	121	1.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	114	1.81
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	109	1.74

(注) 1. 当社は自己株式393,271株を保有していますが、上記大株主から除いていません。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 所有者別分布状況(株式数別)



## 会社概要

(2020年9月30日現在)

会社設立年月日	1938年(昭和13年)5月1日
代表者	代表取締役社長 妹尾一宏
資本金	6,103,252,996円
従業員数	706名

## 主要な事業所

本社さいたま新都心オフィス	☎ 048 (755) 9711 (代表) 〒330-6013 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心ビル13階
本社事業所	☎ 048 (755) 9011 (代表) 〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3丁目3番27号
間々田工場	☎ 0285 (45) 1111 〒329-0211 栃木県小山山市暁3丁目10番5号
瑞穂工場	☎ 042 (557) 4111 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2丁目3番地11

## 取締役および執行役員

(2020年9月30日現在)

代表取締役社長	妹尾一宏	執行役員	宮内公平
取締役常務執行役員	篠原信一	執行役員	内藤佳彦
取締役常務執行役員	源島康広	執行役員	堀智典
取締役執行役員	石田武夫	執行役員	福田健夫
取締役執行役員	琴寄正彦	執行役員	岡部敬三
取締役(社外)	小池達子	執行役員	稲葉英樹
取締役常勤監査等委員	樋口淳一	執行役員	駒形秀樹
取締役監査等委員(社外)	大日方勝彦	執行役員	佐藤好生
取締役監査等委員(社外)	塙昌樹	執行役員	町田達巳
取締役監査等委員(社外)	入江護	執行役員	大河原正之
上席執行役員	副島賢治	執行役員	篠原清
上席執行役員	杉山泰之		

## 株主メモ

## Stock Holder's Memo

証券コード 6513  
 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 3月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。  
 公告方法 電子公告にて行います。  
 公告掲載URL  
<https://www.origin.co.jp/financial/koukoku>  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

## 株式に関する手続きのご案内

## Stock Information

### ■ 単元（100株）未満株式 買取・買増制度のご案内

#### 買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

例：60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

当社に市場価格で  
売却

60株

－

60株

=



現金化

#### 買増請求

100株（単元株式）に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

例：60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

40株を、  
当社から市場価格で  
購入

60株

+

40株

=

40株

60株

単元株式  
(100株)

### ■ 特別口座から証券口座への振替手続きのご案内

特別口座に記録されている株式は、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に取引口座を開設していただいたうえで、特別口座から証券取引口座に振替を行っていただく必要があります。

#### ご所有株式に関するお手続きについてのお問合せ先

「証券会社等の口座」で管理されている当社株式に関する  
配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等



お取引口座を開設されている  
証券会社

「特別口座」で管理されている当社株式に関する  
配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等



みずほ信託銀行証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

未受領の配当金に関するお手続き

